

## 海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/09/09 ～2022/11/01 )

### 1. 勉学の状況

1週目は、渡航前に履修登録をしていた Introduction to Czech Language and Culture というチェコの言語と歴史、文化について学ぶ授業を 3 日間受講しました。今後の生活で役に立つ単語を学ぶことができたと同時に、他の留学生と友達になれる機会になったので履修して良かったと思っています。

2週目からは履修登録が始まり、日本の大学と同様に約2週間の期間が与えられます。この間にいろんな授業を受けてみて、私は結局 5 つの授業を取りました。自分が所属している学部の授業を最低 50%受講する必要がある、それ以外は他学部の授業も履修可能です。

自分が渡航前から取りたかった授業が後期に開講されるとのことだったので、今期は自身の専攻などに囚われず、哲学や社会学など幅広く取ってみました。また、Japan in the political Geography of East Asia という日本についての授業があり、チェコの学生がどのように日本を学んでいるのかに興味を持ったので受講してみました。毎週日本の歴史についてプレゼンをするのですが、他の学生の方が日本に詳しいこともあり、新たな発見があつて楽しいです笑 授業は全て英語で行われていますが、先生を含めほとんど全員が第二言語として英語を使っているため、聞き取りやすく、発言もしやすいです。

↓ Japan in East Asia の授業風景



### 2. 生活の状況

<入国後>

正直、初日は最悪で、渡航前に抱いていた留学理想像がすぐに砕け散りました。今すぐ日本行きチケットを買って帰ろうと本気で思いました。

というのも、渡航前に留学生生活を支援してくれるバディ制度というのに申し込んでいましたが、残念なことに私のバディはあまり親切ではなく、駅に迎えにきてくれるはずが、結局 1 人で大きなキャリーケースを 2 つ引きずって、丸一日かけて寮に辿り着きました。駅で電車のチケットを買おうとすると”CzechOnly (チェコ語だけ)”と書かれた紙を無言で出されたり、駅員がなぜか私にだけ挨拶をしなかったりキャリーケースを運んでくれなかったりと。。。

この時点でかなり疲労困憊だったのと大きな荷物を抱えていたので、オストラバ駅でタクシーを捕まえて寮まで行きましたが、運転手が酔っ払い&ぼったくられ、災難続きで 22:30 くらいに寮につきました。この時点ですでに半泣きです。

寮に着いてからは、さらに絶望しました。自分の部屋に案内されると、虫が何十匹も飛んでいる部屋に二つのベッドとテーブルがありました。また、シャワールームは3つあり、30人くらいいるフロアでシェアしているようで、すでに汚かったです。トイレも4つをみんなでシェアしていますが、水の流れが悪いのと文化によって使い方に違いがあるのか、言葉では表せないくらい悲惨な状態でした。一番驚いたのが、トイレットペーパーがトイレにないため、自分で持っていかななくてはなりません。

アジア人が同じフロアに住んでいるようで、韓国人が30人、台湾人が10人、カザフスタン人が7人ほどいました。この時点で日本人が自分含め2人だけだということが分かり、同じフロアに住む韓国人や台湾人の子たちはすでに到着して数日間過ごしているようで隣の部屋でワイワイしていました。みんなシャイ（特に外国人に対して）なのか、かろうじて挨拶してくれるくらいで、積極的に話してはくれませんでした。自分以外の人が全員敵に見えました。

寂しい初日を過ごしましたが、慣れるまでの辛抱だと言い聞かせ、何度も積極的に話しかけに行ったり、韓国語を少し話せるので、そのおかげで韓国の子達と少し仲良くなれました。笑顔でいること、彼らの国のことを少しでも理解しようとする、この二つが誰とでも仲良く慣れる秘訣だと、この経験から学びました。

絶望の初日でしたが、今振り返ると、学べるものがたくさんあった貴重な機会だと思います。そもそも英語圏ではない国で、急に英語で話しかけてくる外国人の方が彼らにとっては変な人だったのだと思います。特にオストラバは田舎なので、英語を喋る人はそう多くはありません。

少なくとも、チェコ語で挨拶をしたり、翻訳を使って努力することが大事だったと後になって思いました。

#### <寮生活>

私は、Jan opletal という寮に住んでいます。ほとんどの留学生がここに住んでいると聞いていたからです。初日は、最悪な寮生活になるだろうと予測していましたが、IKEAなどで家具を揃えたり、ルームメイトが来てからは快適な部屋になりました。ただ、キッチンやシャワー、トイレは共有なのでかなり汚く、慣れるのに苦労しました。

部屋は2人部屋か3人部屋で、私のケースは日本人女子が2人だけだったので必然的に2人部屋でした。同じ国の子同士で同じ部屋になるようです。

洗濯は毎回お金がかかるので、週一回だけ回しています。下着を多めに持ってくることを強くおすすめします。

#### <友人関係>

結論から言うと、友人関係にはすごく恵まれています。寮ではキッチン、シャワーなど全てを共有している共同生活なので毎日話す機会があり、たくさん友達ができました。また、イベントなども定期的に開かれるので、参加すると友達も作りやすくなります。毎日ワイワイして楽しいですが、1人になれる時間がなかなか取れないのが難点でもあります。

留学が始まって2ヶ月が経ちましたが、すでにあっという間に感じています。毎日が嵐のように過ぎ去っていくので、目標や計画を定めて後悔しない1年にしようと心がけています。

## 海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/11/02 ～2022/12/05 )

### 1. 勉学の状況

現在、4 つ授業を取っており、週 3 で大学に通っています。毎週プレゼンテーションがあって準備が大変な授業もありますが、全く宿題がない授業もあるのでバランスが取れていて今のところそこまで忙しくはないです。ただ、自分のメジャー以外の授業は知らない単語続出でついていくのがやっつとです。留学に来る前に、学術的な英単語をもっとインプットしておくべきだったなと後悔しています。

12 月 3 周目からテストが始まるので、12 月の初めから徐々にテスト期間が始まっています。テスト形態は様々で、ペーパーテストやオンラインテスト、エッセイを提出する授業もあります。テスト勉強は、クラスによって違うかもしれませんが、私の場合はこれまでの授業で使われたスライドを用いて復習しています。

3 ヶ月経って感じていることとしては、来た当初に比べて、英語力が伸びたかなということです。英語を習得することそれ自体が目的なのではなく、友達と話す、授業内容を理解するという上位の目的があり、その手段として英語が必要な時の方が伸びやすいということを実感しています。ただ、正しい文や単語を使えているとは限らない（特にネイティブスピーカーがいない環境だから）ので TOEIC などの語学テストで良い点を取れるかどうか、とはまた別だと思っただ方が良いかもしれません。

### 2. 生活の状況

10 月 31 日のハロウィーンを超えてから一気に寒くなり、現在の平均気温は 2~3°ほどです。また日照時間も短く 16:00 にはほとんど日が沈んでしまうので、アクティブに活動できる時間が減って少し悲しいです。部屋にいることが増えてきたので、ギターを始めてみました。音楽は言語関係なく楽しめるし、ギターを弾ける学生も意外と多いので、留学中におすすめの趣味だと思います。笑

ここ最近で一番楽しかったこととしては、先月から始まった W 杯を寮にいる外国の友達と一緒に観戦、応援できたことです。日本の試合なのにも関わらず、他の国の子達も自国のように応援してくれたのがすごく嬉しかったし、国や言語の垣根なく盛り上げられることに感動しました。スポーツの力って凄い！！笑 また、スポーツに限る話じゃないかもしれませんが、日本人としてのアイデンティティや誇りのようなものがこっちに来てから強まったように感じます。理由は自分でもよく分からないのですが、他の国の子達のそれらが強いから自分も負けてられない！となっているからかもしれません。

11 月の終わりからヨーロッパはクリスマスシーズンに入るので、チェコでも各地でクリスマスマーケットや町中に装飾が施されていてテンションが上がります。ただ、クリスマスだからといってお店が活気づいているのでなく、むしろ逆で、みんなのホリデー感が強いので、すぐお店やレストランが閉まったりします。稼ぎ時だと考えがちな日本とは違って面白いなと思っています。

唯一生活面で困っていることとしては、寒くなってきたことで、夜シャワーを浴びるとお湯が出ない時があるということです。今は少し慣れてきましたが、それでも自分の好きなタイミングでシャワーを浴びれないということがストレスに感じます。あとは、お風呂につかりたくてしょうがないです。笑

# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/12/06 ～2023/6/05 )

## 1. 勉学の状況

現在、留学開始から9ヶ月経ち、最終月の6月になりました。授業は5月初旬に終わってしまったので大学の授業はなく、今は卒論執筆を7月提出に向けて頑張っています。着手するのが遅かったのと、タイトルを最終確定するのに時間がかかってしまい、かなり焦っている状況です。

そんなことはさておき、私がこの Semester で受講していた授業の一部を紹介したいと思います。” Intercultural project ” という授業を取っており、異文化間交流について学んだ後、計2回現地の中学校に行き、日本文化についてのプレゼンテーションを行いました。思っていたよりも日本のことを知らない学生が多かったり、逆に興味を持つ視点が新鮮だったり、交流の中でたくさんの学びがありました。また、今まで英語でプレゼンするということにハードルを感じていましたが、この経験で克服することもできました。



## 2. 生活の状況

冬とは大きく変わり日照時間がかなり伸びてきて、朝4時頃から夜21時くらいまで外が明るいです。また、前の Semester より人がかなり減ったので、比較的穏やかな日々を過ごしています。毎日のパーティーも随分減りました。しかし、相変わらず、キッチン、シャワーなどの設備はかなり悪いです。キッチンにはIHヒーターが8口あるのですが、そのうち2口し

か使えず、好きな時間に調理できないのがストレスです。報告してもなかなか修理してくれないので、みんなすでに諦めています。ただ、最近自習スペースが寮内にできたので、集中して卒論に取り組める環境ができてよかったなと思っています。また、何か自分の中で大きなことに挑戦したかったので、自国の文化を紹介する、留学生団体が開催するイベントに参加し、大勢の留学生の前でプレゼン、日本料理を振る舞いました。大好評でよかったです。